吹田ラグビースクール指導の考え方について

指導委員長 村田

新型コロナウイルスの影響が続く中、2022 年度はこれまでより練習や交流試合が開催することができました。各指導員には様々な制約がある中でも、引き続き子ども達の事を考えて指導いただきありがとうございました。また保護者の皆さまにおかれましても、継続してスクール活動へご理解・ご協力いただきありがとうございました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

新型コロナウイルスはようやく収束を向かえそうな状況ではありますが、2023 年度はウイルス対策だけではなく、活動全体において更に安全を最優先として取り組んでいきたいと考えています。よろしくお願いいたします。

【吹田 RS 指導の考え方の根っこ（不変）】

テーマ：安全なプレー ＝ 正しいプレー ＝ 強いプレー

指導員３大ミッション（全学年統一）

〇安全にプレーさせるために、正しいプレー・ルールを理解して指導する
〇こども１人ひとりに目を向け、こどもの成長に合わせて指導する
〇指導員自身の成長が、こどもの成長に大きく影響することを理解して指導する

【2023 年度主な取り組み】

〇１年間の目標設定

１年間の目標を話しあい、目標達成に向けた計画を設定しましょう。特に高学年や中学部は子ども達とも目標を確認してもらうことが大事です。

〇１人ひとりにあった指導

子ども１人ひとりに目を向けて、その子がどうすれば成長できるかを考えて指導しましょう。

〇安全特化メニューの継続

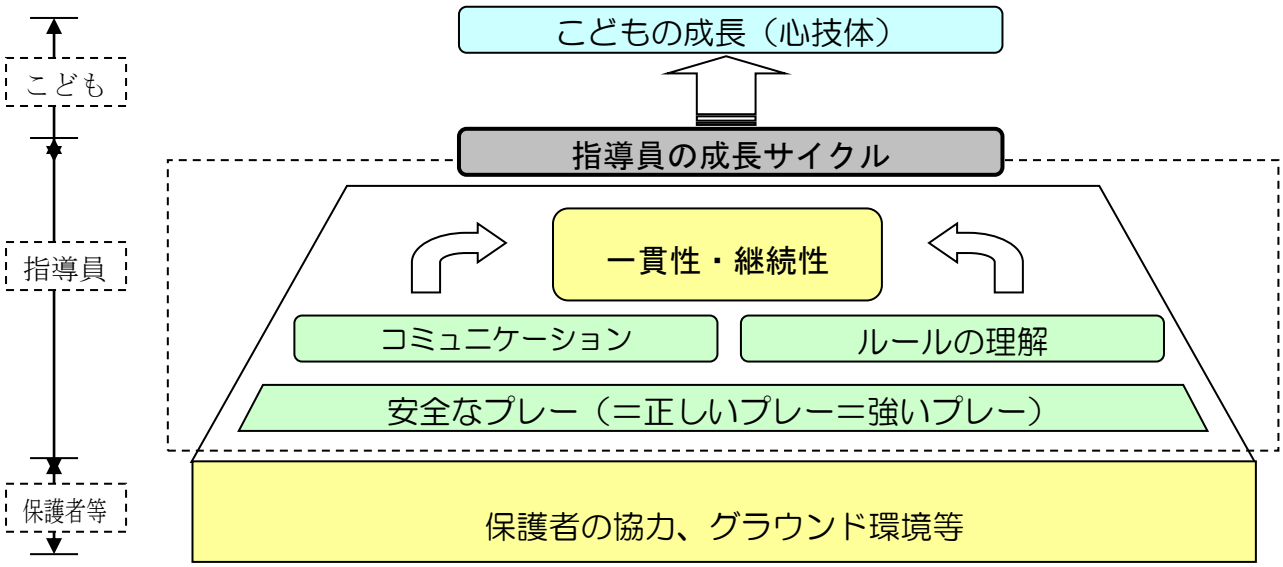
吹田 RS の根っこである安全なプレーに、全指導員がこだわりを持って指導しましょう。

また感染拡大防止の安全面（手洗い・うがいや消毒の徹底など）にも取り組んでいきましょう。

指導員３大ミッション（全学年統一）　<u>下記のポイントを意識した練習を考えましょう</u>

安全において求めるプレー	実践のためのポイント
◎体の芯で当たる ・頭を下げない ・顔が逃げない ・姿勢が真っすぐ	◇頭を下げないためには ⇒相手を見る ⇒肩ではなく胸を当てる ⇒そのためには足を近づける ◇顔が逃げないためには ⇒相手を見る ⇒自分の耳を相手の体に密着させる ◇姿勢を真っすぐにするには ⇒足を真っすぐ踏み込む ⇒相手と同じ胸を当てる
◎ケガをしない倒れ方 ・頭を打たない ・手をつかない	◇頭を打たないためには ⇒倒れるときにおへそを見る ⇒体を横に向ける ◇手をつかないためには ⇒お尻や体の側面から倒れる

〇**制限事項**について

ローヘッドや飛び込みタックルによる腕・肩等の負傷を考慮し、<u>**腰より下にタックルする練習は高学年から**</u>とします。理由として子どもは体幹と四肢の筋力（特に下肢）がないこと から、膝を曲げて強い姿勢を作ることが困難であるためです。

＜こどもを成長させるための取組みイメージ＞